

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
移動式映画館修復プロジェクト～広島につくる仮設空間とイベント構成～
実施日
平成 28 年 5 月 28 日 (土) ～ 平成 28 年 11 月 20 日 (日)
実施場所
<p>【移動式映画装置の修復活動】</p> <p>6月1日～8月19日：おもしろラボ</p> <p>【催しに向けての移動式映画館設置に必要な準備】</p> <p>5月28日～11月19日おもしろラボ、催し場の現地(以下の催し5カ所)</p> <p>【催し】</p> <p>8月20日：広島市中区基町15 ポップラ通り(移動式映画館上映)</p> <p>9月19日：東広島市福富町久芳福富バイパス道の駅ノドライブイン(移動式映画館上映)</p> <p>10月22日、23日：フジグラン東広島(模型・パネル展示)</p> <p>11月13日：ほたる荘(移動式映画館設置、上映、会場設計、カウンターテーブル設置)</p> <p>11月20日：東広島くららホール(移動式映画館設置、上映、一部会場設計)</p>
企画代表者の氏名、所属
<p>氏名：富田直樹 所属：工学部第四類建設・環境系建築プログラム 3年生</p> <p>学生番号：B142976</p> <p>連絡先電話番号：08029255599</p> <p>E-mail：b142976@hiroshima-u.ac.jp</p>
構成員の氏名
<p>B142976 富田直樹 B140283 梶川大介 B142384 神本和正</p> <p>B154598 生田海斗 B166015 神谷友里子 B161677 北岡陽太 B165467 冠野雅人 B130973 井田将貴</p>
指導的立場の教員氏名
石垣文 助教 (建築計画学)
企画の目的及び内容
<p>【目的】</p> <p>私たちは昨年度より、広島県内のイベント設営やリノベーション等のまちづくり活動を進めている。ここで、2年前に製作した移動式映画上映装置の修復と、それを活用するための映画上映に必要な装置の制作、ものづくりワークショップ等を行う。本企画を通して得られる地域の方々と学生とのつながりは、今後のまちづくり活動にも資するものと考えられる。</p>
来場者数
<p>8月20日：広島県広島市中区基町15 ポップラ通り(移動式映画館上映、パネル展示、全体会場設営)</p> <p>【来場者数】354名</p> <p>9月19日：広島県東広島市福富町久芳福富バイパス 道の駅ノドライブイン</p> <p>【来場者数】約500名</p> <p>10月22日、23日：フジグラン東広島(模型・パネル展示)</p> <p>【来場者数】約400名</p> <p>11月13日：ほたる荘(移動式映画館設置、上映、会場設計、カウンターテーブル設置)</p> <p>【来場者数】約100名</p> <p>11月20日：東広島芸術文化ホールくらら</p> <p>【来場者数】約3500名(移動式映画館)、約700名(会場設計担当分「つくってあそぼ」)</p>

主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）

8月20日：ポップラ・ペアレンツ・クラブ
9月19日：東広島市福富町久芳福富バイパス道の駅／ドライブイン
10月22日、23日：フジグラン東広島
11月13日：ほたる荘
11月20日：東広島市役所こども家庭課

活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）

5/28(土)

【活動場所】

おもしろラボ

【活動内容】

移動式映画館：修繕箇所の実測、ルーバーの修理
イベントに向けて：休憩所のアイデア出し
その他：工具購入

【感想】

実測は、1年生にとって初めてで大変だったのではかと思えます。また、アイデア出しの時には積極的に意見も言ってくれたので助かりました。

6/4(土)

【活動場所】

おもしろラボ

【活動内容】

移動式映画館：ルーバーの修理、建てつけの悪い古い椅子の解体とその端材を使って新しく椅子を作る作業に着手

【感想】

木材の繊維方向によってビスが打ち込みにくい方向や割れやすい方向がある。また、下穴あけをサボった所ではひび割れが起こってしまった。

6/11(土)

【活動場所】

おもしろラボ

【活動内容】

移動式映画館：ルーバーの修理、建てつけの悪い古い椅子の解体と、その端材を使って新しく椅子を作る作業。休憩所：自作品作成

【感想】

最初は、器具の使い方も分からなかったが、使っているうちに上達していきスムーズに行うことが出来た。寸法から木を切りネジで止めることをしとてやりがいがある作業であった。反省点は、ネジをとめるときに気の繊維方向にきれつが入ってしまったことです。

7/2.3(土、日)

【活動場所】

おもしろラボ

【活動内容】

ルーバーを新しく作る→設置
長椅子×2(WS)
映画館の扉立て付け修理
パネル展示の検討

【感想】

少しななめになってしまった。初めてで失敗もしたが作るのは楽しかった。7/10は、いすのワークショップを行います。一般参加も可能のイベントとなるのでこの日は、作業はあまり進まないかもしれませんが。その代わりに、午前で出来たら映画館が完成、テントもほぼ完成を目指します。

7/9.10(土、日)

【活動場所】

おもしろラボ

【活動内容】

長椅子×2(WS)
映画館修理完成
テントほぼ完成
パネル展示の検討

【感想】

移動式映画館は、修復し終わりました。テスト、パネル展示のためのものを16日に完了し

て前期を終了出来たらと思ってます。

7/16(土)

【活動場所】

7/16

広島大学工学部棟 地下

【活動内容】

移動式映画館関連：テントの縫い付けパネル修繕、改良

【感想】

テントが完成しました。内観は映画館のような雰囲気がよくでており、風も通るのでとても居心地の良いものになったと思います！

また、作品展示パネルは表面に布を貼り、視覚的に柔らかい物となりました。完成が楽しみです！

8月20日(土)

【活動場所】

広島県広島市中区基町 15 ポップラ通り

【活動内容】

移動式映画館上映、パネル展示、全体会場設営

【感想】

今日は、ポップラ通りで開催された野外上映会に移動式映画館を出展してきました！

朝から少しずつ会場が出来上がっていく様子は感無量でした！映画館は、子供から大人まで多くの方に見ていただけ、好評でした!!

少し気になったのは入りにくそうにしていた方が何名かいたのでそこは、次回への課題としたいと思います！

9月19日(月)

【活動場所】

道の駅 湖畔の里 福富

【活動内容】

移動式映画館上映

【感想】

雨の中、多くの親子連れの方に見て頂き良かったと思います。

10月22日、23日(土、日)

【活動場所】

フジグラン東広島

【活動内容】

活動紹介パネル展示、模型展示

【感想】

模型に興味を持って見てくれた人は多かったが、フライヤーを持って帰ってくれる人は少なかったので活動を多くの人に知ってもらうにはプレゼン能力もこれからは重要になってくると感じた。

11月13日(日)

【活動場所】

ほたる荘

【活動内容】

移動式映画館上映

【感想】

同じ敷地でボランティアの石焼芋があり、非常にレトロな良い雰囲気の中多くの家族や地域の方と楽しむことが出来ました。

11月19、20日(土、日)

【活動場所】

東広島芸術文化ホールくらら

【活動内容】

移動式映画館上映、3階サロンホールの会場設営、運営等

【感想】

今年度の最後の活動にして最大の来場者を獲得することが出来、有終の美を飾ることが出来た。また、このイベントの際には今までにやったイベントに偶然来てくれていた人が何人もいてその方たちから「少しずつ見応えや内容がよくなっているね」等とコメントをいただいた時は感無量でした。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

1. おもしろラボの有効活用
約半年の活動を行う上で2点の上でおもしろラボは有益な空間であった。
まずは、制作室の確保。これは、現在の工学部において様々な作業や活動を進める上で非常に有効だと感じた。今後も様々な活動で利用していきたい。次にWSや先方との会議や打ち合わせといった利用のしやすさ。自由に使うことが出来、学外の人間にも伝えやすい立地にあったのでスムーズに準備を進めることが出来た。
2. 活動範囲の拡大と地域との関わり
当初、おもしろ企画に申請していた時よりも催しが増えていることは前述の活動の内容を見て頂ければ一目瞭然である。これは、一つイベントを行うとそこを訪れていた人からの声掛けに伴い数珠繋ぎに関わりが増えたためである。このことから言えることは、「活動の継続性の重要性」と「地域は僕たちのような活動に対して常にアンテナを貼っていて需要はあるということ」である。
3. 移動式映画館の認知度UPと広報活動
各イベントに来ていたTV局、るるぶ、デジタル雑誌、新聞等の媒体を通して多くの人(全国規模)に活動を紹介することが出来、移動式映画館等の活動の認知度は飛躍的に上昇したと考えられる。今後も活動紹介をすると申し出ている媒体もあるので非常に嬉しく思っている。
4. 来年度に向けての抱負
現在、移動式映画館をきっかけに志和にあるほたる荘のコンバージョンにボランティア参加を行っている。この建物は図書館を目指しているが、そこが志和という地域の起爆剤になるような仕掛けを移動式映画館と絡めながら何か出来ないかと先方と相談中である。また、夏に行ったポップら通りでの野外上映会は来年の設置依頼も既に来ている。このように来年の活動も少しずつではあるが決まりつつあるので地域との関わりをしっかりと考えながら活動を継続していきたいと考えている。
5. 反省
予算については当初申請金額よりも少なくなってしまったので先方に迷惑をかけてしまったので予算申請時にもっと説得力のあるプレゼンをすべきであったと深く反省している。また、活動内容の増加に伴い、申請と完全に一致した予算の消化が出来なかったことも反省すべき点であると考え。一方で受理された補助金が余ったのはプロジェクターを購入する際にカープ優勝記念に伴い1万円以上安く購入できたためである。

実施風景（写真）



移動式映画館修復の様子：修復力所の検討、必要材料工具の検討もこの段階で行いました。



WSの様子：おもしろラボ等で実施し、メンバー以外の広大学生や他大学の人が来てくれました！



完成品：完成したものは自分たちでまずは使ってみて違和感がないかを確認しました。





イベントの様子

(注) 写真については肖像権に関わるので許可が出ている人以外の顔が特定できない写真のみを使用しています。

【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)